祭事暦

平成二十二年七月～二十三年六月

毎月一日　月次祭
八月三日　四日　五日　恒例大祭
九月一日　風祭
九月二日（旧七月二十四日）　諏訪祭宵祭
九月三日　諏訪祭（祭典なし）　盆踊り納涼祭
十月十五日　大国大祭・武尊祭
十一月二三日　新嘗祭
十二月六日（旧十一月一日）　神迎祭
十二月一三日　天長節祭
十二月三一日　大祓
一月一日　歳旦祭
二月一一日　紀元節祭
二月二五日　天神祭
四月七日　例大祭　宵祭
四月八日　例大祭
六月三十日　夏越大祓

その他の御祈祷のご案内。

殿内祭典（内祭）
初宮詣　七五三詣　成人式
厄除け　方位除け　六三除け
車祓（交通安全）　病気平癒
安産祈願　家内安全　商売繁盛
合格祈願　結婚式　算賀祭等

出張祭典（外祭）
地鎮祭　起工式　上棟祭
竣工祭　井戸埋祭　神葬祭
家屋取壊感謝祭等

研修旅行の報告

平成二十一年十一月八～十日

初日は、羽田から飛行機で福岡、太宰府天満宮正式参拝、昼食後、吉野ヶ里遺跡見学、美人の湯菊池温泉に宿泊。
最終日の天気が心配されるため、二日目と三日目の行程を変更して、天岩戸神社参拝、秘境・高千穂峡・真名井の滝を散策、昼食後、阿蘇山、内牧温泉宿泊。
最終日は雨。熊本城を見学、昼食は熊本名物を食べ、阿蘇くまもと空港から羽田、帰沼。

今年の研修旅行の予定

平成二十二年　十一月十七～十八日

一日目は、東京スカイツリーを見て、鹿島神宮・香取神宮を参拝。犬吠崎京成ホテルに宿泊（温泉）
二日目は、大洗磯崎神社を参拝、那珂湊お魚センターによって、水戸藩開藩四百年記念、桜田門外の変映画セットの見学
会費　三万円（予定）

「夏越の祓」6月30日執行

水無月の夏越の祓する人は
千歳の命延ぶというなり

平成22年上半期の間に、知らず知らずについてしまった罪穢れを祓い、次の半期を清々しい心と身体で迎えるための、日本に伝わる昔からの日本の神事です。茅の輪をくぐり、その後人形（ひとがた）に罪穢れを移し川に流しました。
式典には氏子総代、参与、敬神婦人会員の皆様をはじめ、氏子の方が参列されました。
【右の写真は役員の方々のご奉仕による茅の輪の製作】

【4月8日に執行された春季例祭。硯田太々神楽の奉納や、くじ引き投げ餅などがあり大勢の参詣者が訪れ榛名の森は終日賑わいを見せました】

【上の写真は、昨年の沼田まつり8月3日の渡御】

七五三展示会　八月中旬　九月中旬
ご祈祷受付　衣装・写真・着付　ご相談

総代会役員

会長　吉野政雄（西原新町）
副会長　桑原勝雄（清水町）
〃　近藤　剋（東原新町）
監査　星野　公（高橋場町）
〃　阿部常夫（薄根町）
〃　谷川　宏（上原町）

敬神婦人会役員

会長　小林　祐子（西原新町）
副〃　高橋かよ子（榛名町）
〃　見城　宮子（薄根町）
書記　金子かよ子（榛名町）
幹事　戸部　俊江（東倉内町）
〃　木嶋レン子（西倉内町）
〃　籾山　和加（柳町）
〃　富澤　和子（高橋場町）
〃　中沢　静代（材木町）
〃　入澤百合子（桜町）
〃　鷲頭　岩子（上原町）
〃　井上　匡子（東原新町）
〃　吉野　照子（西原新町）
〃　高橋かよ子（榛名町）
〃　清水　ユキ（清水町）
〃　見城　宮子（薄根町）

榛名神社役員名簿

宮司　金子由紀子
権祢宜　金子　三男
金子　隆政
金子　礼佳

東倉内町　参与　宮崎　敬久
西倉内町　参与　水石　清治
柳町　参与　清水　功一
高橋場町　参与　片桐　佳之
材木町　参与　桑原　克之
桜町　参与　下荒磯松美
上原町　参与　武井　英男
東原新町　参与　宮田喜美雄
西原新町　参与　田中　博
榛名町　参与　金子　芳隆
清水町　参与　藤井　國雄
薄根町　参与　宮澤　要治
東倉内町氏子総代　都丸　順次
〃　桑原　弘
〃　望田　昭一
西倉内町氏子総代　角田美之留
〃　雨森　昭
〃　桜沢二三夫
柳町氏子総代　藤井　幸吉
〃　小野　壽一
〃　鈴木總太郎
高橋場町氏子総代　星野　公
〃　青木　二郎
〃　村山　岩雄
材木町氏子総代　和田　雄二
〃　中澤　誠
桜町氏子総代　塚越　一貴
〃　小林　昭紀
〃　万代寿美雄
上原町氏子総代　高橋　省一
〃　谷川　宏
〃　林　初太郎
東原新町氏子総代　宮田豊一郎
〃　近藤　剋
〃　星野　直也
西原新町氏子総代　阿部　等
〃　吉野　政雄
〃　中澤　武三
榛名町氏子総代　小池　八郎
〃　細谷　俊雄
〃　渡邊　春生
清水町氏子総代　山本　廣
〃　桑原　勝雄
〃　石田二三男
薄根町氏子総代　中村栄一郎
〃　阿部　常夫
〃　飯塚　重雄
〃　佐藤　彰